

平成 18 年 10 月 25 日

各 位

船 井 電 機 株 式 会 社
 代表者名 執行役社長 船 井 哲 良
 (コード番号 6839 東証・大証第一部)
 問合せ先 I R・広報部 高 中 直 幸
 (T E L . 0 7 2 - 8 7 0 - 4 3 9 5)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 5 月 11 日の決算発表時に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正致します。

記

1. 中間期の業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

【連 結】

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想 (A)	165,500	10,200	11,000	7,900
今回修正予想 (B)	163,100	10,300	12,300	6,900
増 減 額 (B - A)	2,400	100	1,300	1,000
増 減 率 (%)	1.5	1.0	11.8	12.7
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月中間期)	169,553	15,276	17,675	11,545

【単 独】

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想 (A)	179,500	6,600	6,700	4,000
今回修正予想 (B)	198,100	13,200	13,100	6,600
増 減 額 (B - A)	18,600	6,600	6,400	2,600
増 減 率 (%)	10.4	100.0	95.5	65.0
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月中間期)	192,927	13,081	14,283	7,986

2. 中間期の業績予想修正の理由

連結決算につきましては、売上高、営業利益、経常利益ともに概ね前回発表予想通り推移いたしました。

単独決算につきましては、主として映像機器ではテレビ、液晶テレビ、情報機器ではプリンターが計画を上回って好調に推移したため、売上高、営業利益、経常利益を上記のとおり修正いたしました。

また、上記修正予想には 2007 年 3 月末に清算予定である持分法適用関連会社 PT.DISPLAY DEVICES INDONESIA 社（議決権付株式比率 49.1%）に対する整理損失見込額を特別損失として織り込んでおり、その計上金額は連結修正予想 19 億円、単独修正予想 24 億円となっております。

なお、単体・連結の通期業績予想につきましては、確定次第公表いたします。

（注）業績予想は、現時点で入手した情報に基づき判断したものでリスクや不確実性を含んでおります。

主要市場である米国をはじめ、海外の経済情勢の変化や製品価格の急激な変化などにより実際の業績見通しと異なることがあります。

以 上